

明治・大正・昭和——激動の1世紀が今よみがえる!!

目で見る

# 太田・館林・邑楽の100年

太田市・館林市・大泉町・邑楽町・板倉町・千代田町・明和町

監修 = 青木源作 (元館林市立図書館長)  
(50音順) 茂木 晃 (太田市文化財調査委員)

親から子へ、子から孫へ  
伝えよう、ふるさとの記録

2006年9月上旬  
待望の発刊!  
好評予約受付中

1500部限定 本書は再版いたしません。  
品切れの際はご容赦ください。



▲中島飛行機の花見行列 (太田市・昭和初期) 大正6年、当時33歳の中島知久平は民営航空機会社を設立、終戦まで隆盛をきわめた。同社では毎年春には観桜会を行ない、職場ごとの山車が出て、仮装した従業員が町中をにぎやかに練り歩いた。



▲七夕祭りのにぎわい (太田市〈尾島町〉・昭和33年頃) 尾島町の七夕祭りは、現在の尾島1丁目から尾島上町までを会場に、盛大に行なわれていた。しかし交通量が増えたこともあり、現在は開催されていない。

★初公開写真が続々登場!



▲新誓会の青年たち (板倉町・昭和26年) 戦後、この地域の青年たちが新たな時代に向かって「新誓会」を結成、さまざまな活動を行っていた。写真は下五箇地区の大杉神社が改築され、記念の演奏大会で劇を演じた際の記念撮影。

本書の  
1頁の大きさは  
このチラシと同じ!!  
超大型豪華本  
です!

▲苗取りの合間に (館林市・昭和33年) 木戸町にて。この年は雨が降らず、日照りで田植えが大幅に遅れた。7月中旬、近くの川から水をポンプで引きあげ、ようやく田植えができるようになった。



限定出版のため、満  
数にならないうちに、  
お早めにご予約を!

▲生品神社の箭矢祭 (太田市〈新田町〉・昭和8年) 元弘3年(1333)5月8日、新田義貞が鎌倉攻めに向けて生品神社で旗揚げし、鎌倉の方角に矢を放って戦いの吉凶を占ったという伝説から、毎年5月8日に行なわれる祭り。この年は拳兵600年記念祭となった。

造本・体裁

- B4判・大型上製本
- 豪華保存版
- 総頁148頁
- 収録写真350点
- 美麗カラー口絵付

ご予約特価: 9,975円  
(本体9,500円・刊行前日まで)

定 価: 11,550円  
(本体11,000円・刊行当日より)

B4判の大型本、大きく迫力ある写真と  
わかりやすい解説が特徴です。

郷土出版社

本書の五大特色

1 埋もれた100年のドラマを初めて再現!!

主な事件や世相の移り変わり、祝賀や災害など、郷土の1世紀の営みが手に取るように!!

2 三五〇枚の写真入り、太田市・館林市・邑楽郡を収録!!

3 わが街の生活感あふれる懐かしい姿を満載!! 未発表写真も多数収録!!

4 「見て」「読む」豊富な内容!! 各地域の特色をとらえた特集ページの充実、身近な視点から郷土学習ができる!!

5 迫力ある大胆な大型本、貴重な郷土資料!!

写真集としては珍しいB4判大判本、ワイドな迫力が魅力の歴史写真集の決定版!!

5 ご予約分のみ限定出版!!

永久保存に耐え得る豪華本。限定出版につき品切必至!!



▲堤防工事 (千代田町・明治43年頃) 明治43年8月7日に降り出した雨は12日になっても止まず、利根川の堤防が決壊し大被害を出した。上五箇の中心部に新しい堤防が設けられることとなり、工事が始まった。船上には視察に来た役人の姿がある。



▲御大典記念行事 (太田市・昭和3年) 昭和天皇の即位を祝って、この年、各町では趣向を凝らしたさまざまな催しが行なわれた。写真は現在の本町5丁目ようす。右側に見えるのは呑龍楼 (大光院) への大門。



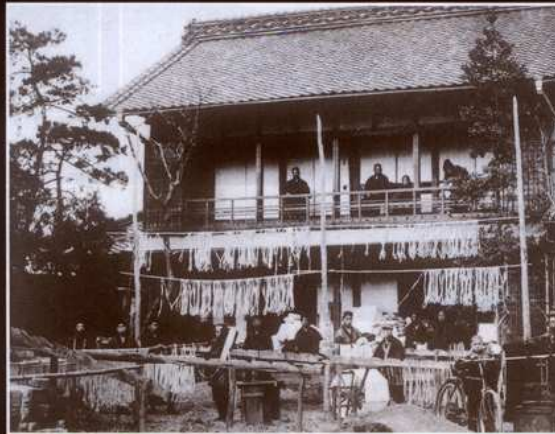
▲邑楽郡婦人指導者講習会の一行 (太田市〈数塚本町〉・昭和27年頃) 数塚温泉で開かれた講習会に参加した面々の記念撮影。数塚温泉は天智天皇の時代に開かれたと伝えられる歴史ある温泉。桐生・太田・伊勢崎の中間に位置し、周辺には多くの古墳もある。



▲だるま市 (館林市・昭和39年) 毎年1月18日に仲町・大手町通り付近で開かれる初市は通称「だるま市」と呼ばれ、100年以上の歴史がある。通りには露店が並び、人びとは1年の幸せを願ってだるまを買い求めていく。



▲沼地の埋め立て (明和町・昭和4年) 文政6年(1823)と翌7年に利根川の堤防が決壊し、須賀地区に大きな沼と池ができた。この沼は長い間放置されていたが、この頃、埋め立てが始まった。工所用のトロッコには、大勢の作業員が乗っている。



▲中野餅の製造 (邑楽町・大正5年頃) 中野餅の起源は安政年間(1854~1860)とされる。明治後半になると白餅もさかんに織られ、「中野餅」の名は全国に知られるようになったが、太平洋戦争中に綿の統制が敷かれ、機屋の軒数は減少した。

▶泉大橋の渡り初め (大泉町・昭和31年) 小泉町を流れる休泊川に架かる泉大橋が完成し、渡り初めが行なわれているところ。この翌年、小泉町と大川村が合併し、大泉町が誕生している。

目で見る・群馬県の100年シリーズ

- 目で見る 沼田・渋川の100年 (残部僅少) 定価: 11,550円 (税込)
- 目で見る 藤岡・富岡・多野・甘楽の100年 (残部僅少) 定価: 11,550円 (税込)
- 目で見る 桐生・伊勢崎・みどりの100年 (2006年10月刊行予定) 予約特価: 9,975円 (税込)
- 目で見る 前橋の100年 (2006年11月刊行予定) 予約特価: 9,975円 (税込)
- 目で見る 高崎・安中の100年 (2006年12月刊行予定) 予約特価: 9,975円 (税込)

申込書

お電話	ご住所	お名前	その他の100年シリーズ
			郷土出版社刊
			郷土出版社刊

\*毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

\*本書の主な内容

- 明治・大正時代
- 一、明治維新と文明開化
    - 岩松漢次郎と新田官軍
    - 新田一族の大館謙三郎謙氏
    - 邑楽郡役所
  - 二、近代教育の始まりと進展
    - 明治時代の教科書
    - 尋常小学校卒業式
    - 九合小学校での糸引き講習
    - 開業間もない太田駅
    - 大正時代の館林駅
    - 中野駅のプラットホーム
    - 煙突がある日清製粉館林工場
    - 館林町動物市場のにぎわい
    - 上毛モスリン株式会社
  - 四、人びとの暮らし
    - 華やかな打掛姿の花嫁
    - 大光院境内の風景
    - 芝居が歩く通り
    - つつじ園公園で遊ぶ子どもたち
    - 館林城跡を訪れた田山花袋
    - コラム 明治四三年の大水害
  - 五、戦後の暮らし
    - 中野駅跡の市会議員となる
    - 道路の舗装工事
    - 富士重工業の進出
    - 正田醤油研究室
    - 商業界での赤穂浪士飯後行列
    - 太田市の活性化で浅草へ
    - 三、未来にむかって
      - 受け継がれる伝統行事
      - 大学の開校
      - 向井千秋氏を歓迎して
- 昭和戦後
- 一、敗戦からの復興
    - 素人演芸会での熱演
    - 皇居へ勤労奉仕を行った婦人会
    - 衣装がたりなかった学芸会
    - 長生館での新年祝賀会
    - 国勢調査を記念して
    - 米軍キャンプ返還式
  - 二、高度経済成長の時代
    - この他興味深い項目多数
    - ※内容は変更になることがあります。